

# 演習 I

担当者 太田 一樹

開講時期 通年 単 位 4

## ●講義の概要

企業の戦略やマーケティングなど経営の実践的課題を分析し、理論的視点からその現象を解明していく。そして理論的検討と企業として展開すべき選択肢を検討していく。議論する内容を一例としてキーワードであげると、戦略、イノベーション、価値創造、アジア市場、生産性、日本の経営である。特に、大企業だけでなく中堅・中小企業の経営について理論的・実践的に究明していく。

## ●講義の到達目標

講義の概要に関するテーマの修士論文が作成できるように次のような能力を養うことを目標とする。

- ①講義の概要で示したキーワードなど経営学（広義）関連の基本的概念を理解する。
- ②経営学に関する専門書を能動的に読み、批判的に検討することができる。
- ③自らの力で企業現象を分析し問題設定できる能力と、それを（簡単な）論文に仕上げることができる。

## ●講義計画

- 第1回 研究の意義と進め方
- 第2～3回 論文の構成と作成の基本
- 第4～15回 経営学（広義）に関する文献の輪読
- 第16～20回 研究テーマの設定と関連研究の探索
- 第21～25回 修士論文に関する文献の輪読
- 第26～30回 修士論文の基本構想づくりと方法論の検討

## ●成績評価基準と方法

上記の到達目標の達成度を測るために、次の方法で評価する。

- ①ディスカッションおよびプレゼン内容：50%
- ②レポート課題：50%

## ●テキスト又は参考文献

テキストについては受講生の関心と知識レベルを勘案して相談しながら決める。また、参考文献については適宜紹介する。

## ●受講上の留意点

- ①経営学分野の基礎的な知識を修得しておくこと。
- ②議論を建設的なものにするために、事前課題は必ずやってくる。
- ③できるだけ論理を意識しながらディスカッションを丁寧に行うこと。
- ④経営理論に関心を持ち批判的に論文を読む習慣を身につけること。